

## アンタレス S

<AI注目馬>

3, 6, 9, 12

<最終見解>

本命はメイショウカズサ。

土曜も好調だった父も母父も米国型。

湿ったダート、高速決着得意。

母父のフォーティナイター系は当レースで  
ポイントになるスプリント指向の強い血。

スピードの持続性が持ち味にも関わらず、  
近走はスタミナや馬力が問われるまったく  
合わない条件を使われ続けているので、一変も期待できます。

相手もエーピーインディ系の

プロミストウォリア、  
キングズソード、  
ケイアイパープル  
を重視。

## 皐月賞

<AI注目馬>

4, 5, 10, 16

<最終見解>

タフな馬場の皐月賞は父非サンデー系。

特に父か母父が欧州型。父も母父も非サンデー系に有利。

昨年は 5 番人気 1 着のジオグリフが父非サンデー系のドレフォン産駒。  
母父も欧州型の非サンデー系で母系に馬力強化のノーザンテースト。

2021 年も父非サンデー系が 5 頭出走。1~4 着までを独占。

2020 年もタフな馬場。4 頭しか出走していなかった  
父非サンデー系のうち、ウインカーネリアンが 17 番人気の  
超人気薄ながら 4 着に善戦。

本命はトップナイフ。

父はデクラレーションオブウォー。父ノーザンダンサー系。

タフな芝で行われる欧州の芝中距離 G1 馬。  
タフな芝も大得意でファルコン S でも産駒の  
タマモブラックタイが単勝 27 倍で優勝。

アメリカ最高峰のブリーダーズカップクラシックでも僅差 3 着。

小回り競馬に対応する加速力も持ち合わせています。

近親にタフな馬場で行われた皐月賞を勝ったテイエムオペラオー。

産駒はキャリアを重ねた馬の期待値が高いように、まだ上昇が見込めます。

ベラジオオペラは父も母父も非サンデー系。  
母父は欧州型ノーザンダンサー系のハービンジャー。  
短い距離の経験も有利。

ファントムシーフも父も母父もノーザンダンサー系。  
デビュー当初から書いていたように 2 代父と 2 代母の同血クロス。

タッチウッド自身は軽い馬場の方がなお有利でした(本命にしたと思いますが)、  
外枠と前走の経験は有利。

ソールオリエンスは前走中団より後ろの競馬をしたキタサンブラック産駒。  
追走ペースも 2 秒近く速くなります。危険パターンに該当します。